

あわら市議会だより



第78号

令和5年11月15日 発行

12月2日(土) アフレアで
「議員と語りっ!」
あわらの未来」開催!!

2024年春



北陸新幹線芦原温泉駅開業



特集ギカツは
最終ページへ

議会の様子が YouTube で視聴できます。

あわら市議会 YouTube

検索

<http://www.city.awara.lg.jp/gikai/>

9月定例会報告	2p
委員会報告	3p
一般質問	5p
陳情・議員発議・次期会期日程	
「議員と語りっ!あわらの未来」開催	10p
議案と結果・編集後記	11p
特集「ギカツ」	12p

9月定例会

令和5年度一般会計補正予算

3億5,162万4千円を増額

令和5年度一般会計予算総額は151億5,831万3千円に

令和5年9月定例会が8月28日から10月13日までの会期で開催されました。

今定例会では、専決処分などの報告に関するもの3議案が受理されたほか、専決処分の承認に関するもの2議案、令和4年度の各会計決算の認定に関するもの10議案、補正予算に関するもの2議案、条例の制定に関するもの3議案、人事に関するもの1議案の計21議案が上程され、すべて原案のとおり承認・認定・可決・同意されました。また、陳情1件を採択したほか、議員発議により決議1件を可決しました。

なお、今回は10人の議員が一般質問を行い、理事者に対して市政をたどしました。

主な歳出...

●電気・ガス料金高騰対策支援金 2,000万円

ウクライナ情勢、円安、原料価格高騰等を原因とした電気料金及びガス料金高騰の影響を受けた市内中小企業者に支援金を給付するための予算。

●U29夫婦支援金 990万円

29歳以下の世帯に対し、結婚に伴う新生活のスタートアップを支援するための予算。

●観光まちづくりビジョン策定会議運営事業 657万2千円

地方誘客、観光消費拡大、持続可能な観光地域づくりを行うための「観光まちづくりビジョン」を策定するための予算。

●インバウンドコンテンツ造成・販路整備事業 600万円

外国人観光客に向けた体験型コンテンツの商品造成、受入環境の整備、商品の販売促進、海外プロモーションを行うための予算。

●視覚障害者誘導支援整備工事 550万円

市役所庁舎に視覚障害者誘導ブロック(点字ブロック)、音声誘導装置、自動ドアを設置するための予算。

●あわら市MaaS実証実験事業 550万円

二次交通の普及や市内観光の周遊性を高めることを目的としたMaaSアプリ実証実験を行うための予算。

●ひとり親家庭習い事支援事業 140万円

ひとり親家庭の子どもへの習いごとにかかる経済的負担を軽減するための予算。

●保育対策総合支援事業費補助金 75万円

私立こども園のICT化の推進に伴い、市から私立こども園に補助金を交付するための予算。

●ふく育応援事業 69万6千円

福井県ふく育応援事業の開始に伴い、子育て世帯限定のふく割クーポンを案内する予算。

●保育の職場づくり総合対策事業補助金 59万6千円

私立こども園の職員の各種手当に対し、市から私立こども園に補助金を交付するための予算。

常任委員会

予算決算常任委員会

令和5年度
一般会計補正予算

■監理課

視覚障害者誘導支援
整備工事

550万円

委員 音声誘導装置とは
どのようなものか。

理事者 チャイムが鳴るこ
とにより、視覚障がい者
が入口を認識することが
できる装置です。なお、
あわら市視覚障害者福
祉協会と協議を行い、庁
舎通路途中の両開きの
扉も自動ドアに改修する
ことにしました。

■市民協働課

U29夫婦支援金

990万円

委員 県内の他の市町と

比較して、あわら市の支
援内容はどうか。

理事者 あわら市の支援
内容は、他の市町と同
等となっています。

■観光振興課

観光まちづくり
ビジョン策定会議
運営事業

657万2千円

委員 ビジョンの策定に携
わる委員はどのような構
成を考えているのか。

理事者 市内の委員には、
市民や企業・旅館の代
表者、観光協会の事務
局長を考えています。また、
市外の委員には、県の観
光誘客課の職員や観光
連盟に派遣されている専
門家などを考えています。

委員 観光分野だけでな
く商業、農業、工業分
野にも目を向けて、広く
意見を集約し、市の強み

を考えたうえで、どのよ
うな発信をしていくか議
論してほしい。

■商工労働課

電気・ガス料金高騰
対策支援金

2千万円

委員 支援金は農業者も
給付対象か。

理事者 業種を限定した
支援金ではないため、条
件に該当すれば農業者も
給付の対象となります。
委員 農業者に十分周知
してほしい。

理事者 広報やホーム
ページで周知し、農業者
にも分かりやすい窓口を
検討します。

■子育て支援課

あわらっこ出産・
子育て応援事業

17万5千円

委員 出産・子育て応援

給付金を現金でなくデジ
タル地域通貨で給付する
と2千500円を上乗せ
することだが、市内
で使用できる登録店は
いくつあるのか。また、来
年度以降も事業を継続
するのか。

理事者 市内の登録店は
58店舗あります。県から
は、令和6年度も事業
を実施する予定だと聞い
ていますが、それ以降は
未定です。

総務厚生常任委員会

あわら市特定教育
・保育施設及び特
定地域型保育事業
の運営に関する基
準を定める条例の一
部を改正する条例
の制定

就学前の子どもに関す
る教育、保育等の総合

的な提供の推進に関する
法律が一部改正されたこ
とに伴い、引用する条項
の改正を行うものです。

あわら市放課後児
童健全育成事業の
設備及び運営に関
する基準を定める
条例の一部を改正
する条例の制定

国が定める放課後児
童健全育成事業実施要
綱の一部改正に伴い、放
課後児童支援員の資格
要件である認定資格研
修の終了期限について所
要の改正を行うものです。

産業建設教育常任
委員会

セントピアあわら
条例の一部を改正
する条例の制定

セントピアあわら入浴
料金の改定に伴い、所要

の改正を行うものです。
委員 入浴者数の目標を
20万人と設定しているの
であれば、料金改定に
よって利用料収入が伸び
るため、指定管理料を5
00万円増額する必要は
ないのではないか。
理事者 料金改定によっ
て利用者数が1割減少す
る見込みのため、指定管
理料を増額して収支のバ
ランスを調整しています。



セントピアあわら

常任委員会（決算審査）

9月議会では、令和4年度の決算について、「予算が適切に執行されているか」、「財政執行が本来の行政目的に適合しているか」、「住民負担と使途が適正かつ効率的に行われているか」などに重点をおいて審査を行います。

審査では、翌年度以降の事業がより良くなるよう、委員から様々な提案や改善を求めています。

■総務課

防犯カメラの設置理由の把握

防犯カメラを設置するための補助金の調査を行う際に、設置した理由の聞き取りをしてほしい。他の集落が防犯カメラを設置するうえで参考になり得る。

■監理課

市役所庁舎・公用車の脱炭素化に向けた計画

ゼロカーボンシティを宣言しているのであれば、市役所庁舎の照明をすべてLED化にするほか、

公用車を電気自動車に入れ替える時期などの具体的な計画を立てるべきでは。

■政策広報課

広報あわらの改善

インターネットで閲覧できるデジタル版の広報あわらを、今までより便利に見やすく、多くの人が閲覧できるよう進めてほしい。

波松小学校の休校利活用の推進

波松小学校エリアへの教育旅行の受け入れを、北陸新幹線開業も見据えて、旅行会社と十分に連携しながら進めてほしい。

■市民協働課

縁結び推進事業

カップルが成立したときのフォロワーをしっかりと、結婚や移住定住に結び付けてほしい。

■福祉課

福祉推進員の支援

福祉推進員は地域福祉活動において重要な役割を担っているため、しっかりと支援をしてほしい。

■健康長寿課

老人福祉センター市姫荘の運営改善

利用者が固定化されてきているため、今の二-

ズに合わせた運営内容を検討してほしい。

■生活環境課

乗り合いタクシーの広域化・アプリ対応

乗り合いタクシーを使って、市の垣根を越えて市外へも行けるような取り組みを検討してほしい。電話予約だけでなく、アプリを使った予約もできるよう検討してほしい。

■商工労働課

ポイントサービス等の用途・目的の把握

ゆ〜i夢カードのデジタル化に伴い、ゆ〜i夢カードだけでなく他のポイントカードや地域通貨などそれぞれのサービスが、どのような用途や目的を果たすのを見極めたい。適切な運用をしてほしい。

■観光振興課

指定管理事業の精査と指定管理者へのフィードバック

指定管理者から提出された収支報告書を鵜呑みにせず、内容を精査し、その結果を指定管理者にフィードバックすべきである。

■農林水産課

新規就農者のサポート体制

新規就農者が農業で生計を立てることが出来るよう、関係機関と連携したサポート体制を続けてほしい。

■建設課

屋外広告物手数料の公平な賦課徴収

看板設置に対して賦課される手数料の公平性が保たれるよう、設置申請

■教育総務課

適応指導教室などの指導員の負担軽減

小中学校に開室されている適応指導教室などの利用件数が令和4年度は減少したものの、長期間でみると利用件数は増加傾向にあるため、指導員の負担軽減対策に注力してほしい。

■文化学習課

あわら市文化会館

解体に向けて地権者と協議を行う段階になった場合は、地権者の十分な理解を得られるよう交渉を進めてほしい。

・地籍調査の推進について ・豪雨による被害対策について

地籍調査の推進について

木下 所有者不明土地の問題解決には、地籍調査の実施が重要であると考えますが、地籍調査の現状と進捗状況は。

経済産業部長 地籍調査実施済面積は全体の84%と進んでいるとは言えません。地籍調査事業は境界の確定を主としており、所有者や相続などの権利関係を明らかにすることが目的ではありませんが、地籍調査の重要性を情報発信しながら、調査を進めます。

豪雨による被害対策について

木下 令和5年7月の豪雨による市内の被災状況及び被災地の復旧・

復興に向けた取組みは。

市長 豪雨による人的被害はなかったものの、物的被害として住家への土砂流入や床上床下浸水が発生しました。復旧対策のため、約2億2千万円の専決処分をしました。被災された皆様の安全と生活の安定を図るため、土木施設や下水道施設、農林業被害の早い復旧復興に努めます。

木下 豪雨によって、高塚区の黒谷川が氾濫し、中央区が浸水した。過去にも豪雨による浸水被害が何度かあったと思うが、黒谷川の氾濫防止策は取られていたのか。

土木部長 これまでも黒谷川の被害を軽減するため、河道拡幅や水路の新設などの整備を行ってきました。今後は、



木下 勇二 議員

流域の関係者が一体となって治水対策を行う流域治水を進めていくよう、他市の動向や施策事例を調査し、検討を進めます。

木下 黒谷川は市が管理する河川のため、有効な治水対策の検討をお願いします。



黒谷川(中央区交差点付近)



▲一般質問の様子をYouTubeでチェック

・公民館のコミュニティセンター化について ・市長のトップセールスについて

公民館のコミュニティセンター化について

北浦 全国に公民館が設置されるようになってから70年以上が経過し、社会情勢の変化とともに公民館の果たす役割に大きな変化が生じている。生涯学習の場としてだけでなく、防災、地域づくりや地域コミュニティの更なる活性化の拠点として新たな役割が期待されるようになってきている。公民館のコミュニティセンター化を検討しているかどうか。

市長 公民館や休校中の小学校などをコミュニティセンター化する方法が考えられます。この場合、これらの施設を教育委員会から市長部局に

移管する方法や、施設の運営方法などについて十分に検討する必要があります。また、地域課題に連携して取り組むための地域づくり組織についても検討していく必要があります。将来を見据え、地域づくり組織やその活動の拠点整備は必要だと考えていることから、今後、可能性のある地区から検討を進め、地域の声も伺いながら、市民が主役のまちづくりを推進していきます。

市長のトップセールスについて

北浦 なかなか市長の顔が見えてこないという話を市民から聞く。市長自ら全国各地に足を運び、市の特産品とまちの魅力、温泉の魅力を売り



北浦 博憲 議員

込み、成果を発信していただきたい。市長の意気込みはどうか。

市長 市の魅力や取り組んでいる事業のほか、特産品、新商品のPR、企業や団体への働きかけなど私自ら精一杯行い、私の活動を市民の皆様にも広く知っていただくために、しっかり発信していきたいと思えます。あわら市のトップセールスマンとして、市の魅力を最大限に広め、新たな未来を切り開くために全力を尽くし、成果を上げていきたいと考えています。



▲一般質問の様子をYouTubeでチェック

・歳入について ・事業継続計画

(BCCP)について

歳入について

青柳 一般会計における市の主な歳入は市税と地方交付税を中心に構成されている。今後、人口減少が進むと、市税と地方交付税が減少し、行政サービスの質を維持することが難しくなると言われている。市税と地方交付税を確保するため、どのような計画を立て、どのように行政運営を進めるのか。

市長 令和3年3月に策定した行財政改革プランに基づき、改革を進めています。多様な自主財源の確保と歳入の減少幅を緩和するために、①人口減少の抑制につながる戦略的な施策を展開していくこと、②人

を引きつける魅力あるまちづくりを進めること、③税収増をもたらす企業誘致を進めること、④ふるさと納税などの税収以外の歳入を確保することが重要な課題と考えています。

青柳 法人からの税収が合計46%と、約半分を占めているというデータから、人口減少が進んだとしても、税収の減少幅は相対的に緩やかになると考えられる。また、ふるさと納税については、新しい取り組みを取り入れながら、さらに豊かなあわら市のまちづくりを進めてほしい。

事業継続計画(BCCP)について

青柳 BCCPの運用に

青柳 篤始 議員



において重要な「リスク評価と影響分析」、「計画の見直し・更新」を中心に、市のBCCPをどのように運用しているか。また、BCCPに関する相談窓口は設けているのか。

総務部長 BCCPは、災害時における市民生活や経済活動への影響を最小限に抑えることを目指しており、都度、必要な見直しを行ってまいります。総務課防災安全対策室がBCCP策定に関する相談を受け付けており、関係機関と連携し、BCCP策定を支援してまいります。



▲一般質問の様子をYouTubeでチェック

・フレイル予防事業の現状と

今後の方向性について

・民生委員児童委員・福祉推進委員の

現状と今後の課題

フレイル予防事業の現状と今後の方向性について

堀田 フレイル予防事業の今後の方向性をどのように考えているのか。

健康福祉部長 新たな取り組みに向けて、坂井市や鯖江市など他の自治体の先進事例を参考に、フレイル予防事業の向上に努めたいと考えています。

堀田 様々な分野やサービステ連携し、フレイル予防の仕組みを構築する考えはあるか。

市長 公民館講座やアフレアのイベントなど、フレイルチェックを行う機会を市内全域に広げることや、大学やNPO団体など市以外の団体

と連携していくことが大切だと考えています。



民生委員児童委員・福祉推進委員の現状と今後の課題

堀田 民生委員を取り巻く環境整備や行政対応の課題をチェックする仕組みを構築する考えはあるか。

健康福祉部長 民生委員への協力依頼が多いことや、行政機関との調整が日々の活動の負担となっていると考えられます。民生委員の置かれている環境を注視し、協力依頼をできるだけ減らす調整

堀田 あけみ 議員



を行政内部で行っていきたいと思います。また、民生委員協議会の運営委員と連携しながらフォローアップに努めるほか、福祉まるごと相談室を中心に複合的な課題の解決に当たると、相談体制の向上に努めていきたいと考えています。

堀田 福祉推進委員と市との交流の場をつくる考えはあるか。

健康福祉部長 令和5年10月頃、あわら市社会福祉協議会が開催する地区ごとの福祉推進員カフェ交流会に福祉課職員が参加する予定です。



▲一般質問の様子をYouTubeでチェック

・金津本陣にぎわい広場の 用地の譲渡について

・県水の過剰供給水量の

あわら市分の負担金について

**金津本陣にぎわい
広場の用地の譲渡
について**

八木 金津本陣にぎわい広場の土地の一部をホテルプライムイン福井あわらの駐車場として有償譲渡する計画がかなり進んでいるとのことだが、市長の考えは。

市長 令和4年9月定例会の常任委員会と全員協議会において、対象エリアの用地の譲渡から国庫補助金の返還までのスケジュール等を説明いたしました。これらの手続きは令和5年度中に完了させたいと考えています。

八木 芦原温泉駅西口立体駐車場がありながらも、ホテルプライムイン福井あわらに金津本

陣にぎわい広場の用地を有償譲渡する理由は。

市長 ホテルの誘客力を高めることは、J R芦原温泉駅前やあわら市全体のにぎわい創出に有効であると総合的に判断して譲渡を判断しました。

県水の過剰供給水量のあわら市分の負担金について

八木 県水の供給により年間1億4千万円もの負担を被っているのは市の行財政に非常に負担であり、市の運営に大きな支障を来すことは認識しているのか。また、過剰水量の問題解決のためにどのような考えを持っていらっしゃるのか。

市長 過剰供給水量が大きな財政負担であることは重々認識していま

八木 秀雄 議員



す。令和2年度から再重要事項として知事に直接要望しており、令和5年度は新たな費用負担方法を検討するよう要望する予定です。

八木 県から坂井市との調整をするよう求められているとの答弁もあったが、坂井市と比較してあわら市の負担が大きい状況で調整をしてもうまくいかない。この問題が解決すれば、市長の公約である給食費無償化の後押しになるため、市長が知事に直接要望して解決する努力をしてほしい。



▲一般質問の様子をYouTubeでチェック

・認知症高齢者等個人賠償責任

保険事業について

・高齢者運転免許証自主返納 支援について

・補聴器購入費の助成について

**認知症高齢者等
個人賠償責任保
険事業について**

平野 県内で認知症高齢者等個人賠償責任保険事業を導入している市町はあるか。

健康福祉部長 現在「導入している」、または「導入を予定している」自治体はありません。
平野 認知症高齢者等個人賠償責任保険事業を導入する考えはあるか。

健康福祉部長 導入の予定はありませんが、認知症施策を進めるにあたり、高齢者の支援を総合的に検討する必要があります。同事業の先進事例などを調査研究して

いきます。

**高齢者運転免許
証自主返納支援に
ついて**

平野 市内在住の65歳以上の免許返納者数は。また、自主返納者が移動するための支援策はあるか。

市長 過去5年間では、年間約100名が運転免許を返納しています。先進的な事例を参考に、高齢者が免許を返納して良かったと思えるような支援策を今後検討していきます。

平野 時夫 議員



補聴器購入費の助成について

平野 現在、人工内耳を装着している児童はいるのか。また、児童以外にも着用者はいるのか。

健康福祉部長 現時点では、児童も児童以外もないと推測されます。
平野 補聴器購入費を助成する考えはあるか。
健康福祉部長 国の支援制度の創設の動向を注視したいと考えています。



▲一般質問の様子をYouTubeでチェック

竹田川周遊整備構想について 大型商業施設の誘致について 学校給食無償化事業について

竹田川周遊整備構想について

室谷 JR芦原温泉駅から竹田川までにおいて、一体的なまち歩き空間として整備する」という公約の進捗は。

市長 令和4年度に竹田川周遊整備構想を策定し、駅から竹田川などをめぐる周遊軸を設定し、駅前児童公園を周遊の拠点としました。令和5年度に入り、地元の方々と整備構想の内容について協議を重ねています。今後は、地元と意見を交換し、具体的な計画にして、令和6年度に新規事業化を行う予定です。

室谷 総事業費はどれくらいか。

土木部長 総事業費は概算で約1億5千万円

と見込んでいます。「まちなかウォークプル推進事業」という補助率50%の国の補助事業を活用します。

大型商業施設の誘致について

室谷 芦原温泉街と金津市街を結ぶ幹線道路沿線への大型商業施設の誘致に努める」という公約の進捗は。

市長 総合小売業の企業やデイベロップパーへのアプローチに加え、企業の情報把握している金融機関に対しても紹介を依頼するなど、様々な角度から活動を実施していますが、誘致はなかなか進んでいません。立地が可能な場所を様々な企業に提案し、粘り強く誘致活動に取り組んでいきたいと考えています。

室谷陽一郎 議員



学校給食無償化事業について

室谷 学校給食の完全無償化の達成についてどう考えているか。

市長 小中学校の学校給食費の半額支援を継続し、完全無償化の実現に向けて、時期や財源を検討していきます。また、国や県に対して必要な措置を講じるよう働きかけていきます。

室谷 子育て支援のシンボリックな政策のため、あらゆる手段を使って完全無償化を実現してほしい。



▲一般質問の様子をYouTubeでチェック

農業支援について マイナンバーカードについて

農業支援について

山川 農林水産省が発表したコシヒカリ1俵あたりの生産費は約1万5千円であり、令和5年のJA福井県からの前渡金は1万2千700円であった。米を生産するほど赤字になるため、農家が農業の将来に展望を持てるよう、生産費に見合う価格保証などを国に求めるとともに、市も支援を強化すべきではないか。

経済産業部長 米生産者の収支は厳しい状況ですが、農地の集積などで生産効率を高めるとともに、転作作物の収益などを合わせ、収支を見るのが重要と考えています。米生産費に見合う価格については、全国的な問題であり、米の生産のみで収益が上がる施策を、国に求めることは考えていません。市の独自支援は、財政状況や農業者の状況を勘案して検討します。

山川 日本の農業は後継者不足で、耕作放棄地が増え、食料自給率も36%と減り続けている。主食である米を守るために、抜本的な支援強化を求める。

マイナンバーカードについて

山川 令和6年秋から現行の健康保険証を廃止すると国が方針を示しているが、障がい者や認知症の方を含め、国民にカードを所持させることは不可能であるため、国にマイナンバーカード制度そのものをやめるように求めるべきではないか。

山川知一郎 議員



市民生活部長 マイナンバーカードによって、行政手続きが簡素化され、市民の負担も軽減されます。現段階で制度をやめるよう国に要望することは適切ではないと考えています。



▲一般質問の様子をYouTubeでチェック

・外部人材採用制度の積極的な活用について

外部人材採用制度の積極的な活用について

三上 地域おこし協力隊と地域活性化企業人の制度概要と本市の現状は。

創造戦略部長 地域おこし協力隊制度は、都市地域から過疎地域などに生活拠点を移し、行政支援のもと活動を行い、任期後も活動地域に定住・定着を図ることを目的としたものです。本市では現在、地域おこし協力隊員を採用していませんが、過去に計5名を採用しています。一方、地域活性化起業人制度は、言わば地域おこし協力隊の企業版に近い性質のもので、民間企業等の社員を

地方自治体が一定期間受け入れ、民間のノウハウを活かしながら、地域独自の魅力と価値の向上につながる業務に従事してもらいます。本市では、1名をICTアドバイザーとして受け入れ、DX推進に関する業務全般に携わっていただいています。

三上 人材採用制度活用のメリットとデメリットは。

創造戦略部長 メリットは、地域外の目線や、専門的な知識、技術を持った人材を登用することで、行政職員とは異なる視点で課題解決に取り組むことが期待できるという点です。一方で、デメリットというよりも、制度導入における留意事

項として、受入れ側の体制づくりがあります。**三上** 今後これらの制度を積極的に活用していく意思はあるか。

市長 人的資源に限りのある地方自治体では、行政だけで解決が困難な課題に対する外部人材の活用は非常に有効です。ミスマッチのリスクを最小限に抑え、任期後も本市に定着してもらえよう、国の動き、民間の動きを注視しつつ、他自治体での事例なども研究しながら、前向きに検討を進めます。



三上 寛了 議員

・災害時における指定一般避難所のユニバーサルデザイン化の推進について

災害時における指定一般避難所のユニバーサルデザイン化の推進について

島田 近年、激甚化・頻発化する地震や豪雨などの気象災害から、市民の生命、財産、暮らしを守るものが地方自治体に強く求められている。大きな災害が発生すると、地域の小中学校や公民館などの指定一般避難所に住民が避難することになっているが、避難所のバリアフリー化未整備により、避難したくても出来ない市民がいることも事実であり、これにより災害関連死等の二次災害が多発したことも過去の大地震の事例からも明らかである。

また、学校施設においては、防災面に加え、バリアフリー化の推進が、障がいのある無に問わず、希望する全ての児童・生徒が共に学ぶ「インクルーシブ(包摂)教育」の普及にも役立つものである。あわら市の指定一般避難所におけるユニバーサルデザイン化の現状と課題に関する市長の見を伺う。

市長 ハード面に加え、ソフト面からも順次整備を進めていますが、完全ではありません。今後、計画的かつ着実に整備を進め、あらゆる人が指定一般避難所を安心して利用できるよう、より一層のユニバーサルデザイン化に取り組みます。

島田 高齢者、障がい者、難病患者、妊産婦、乳幼児、外国人などの「要配慮者」を含む、誰もが安心して過ごせる避難所に向け、バリアフリー整備などのユニバーサルデザイン化に尽力を願う。



島田 俊哉 議員



▲一般質問の様子をYouTubeでチェック

知ってる？
みなさん

ちょっと役立つ 豆知識

政治家のルール

お金のかからないきれいな政治・選挙の実現のため、選挙の有無に関わらず、政治家が選挙区内の人に寄附を行うことは、名義のいかんを問わず特定の場合を除いて一切禁止されています。有権者が求めてもいけません。冠婚葬祭における贈答なども寄附になるので、注意してください。

また、年始の挨拶に欠かせない年賀状ですが、政治家が自身の「選挙区内にある者」に、年賀状や寒中見舞状などの「あいさつ状」を出すことは公職選挙法で禁止されています。

※ただし、年賀状を受け取ることはでき、また、その答礼としての返事を出すことは「自筆によるもの」に限り認められています。

《寄附の例》

- ・お中元、お歳暮
- ・神社の玉串料
- ・祝い金や品物
- ・葬式の花輪、供花
- ・地域の行事への寄附や飲食物の差し入れ
- ・町内会の催物への寸志や飲食物の差し入れ
(新年会や祭りのお神酒など)



議員と語ろう!

あわらの未来を開催します!

開催日 12月2日(土)

時間 13時30分~15時

場所 アフレア(JR芦原温泉駅前)

●どんなことをするのか?

少人数のグループで気軽にお話ししましょう。参加者の皆さまと議員がワークショップ形式で身近に意見交換ができる会です。堅苦しさは一切なし!

●何を語り合うのか?

色々なテーマをご用意します。興味のあるテーマを選んで未来を語り合しましょう。



テーマ例：子育て、少子化、福祉、観光・商工業、交通、農林水産業、駅前活性化など

詳しい内容は、チラシでお知らせします。
議員一同、ご参加をお待ちしています。

第118回定例会日程

11月16日(木)	議会運営委員会
11月17日(金)	全員協議会
11月27日(月)	本会議 初日 予算決算常任委員会
12月 5日(火)	本会議 2日目(一般質問)
12月 6日(水)	本会議 3日目(一般質問)
12月 8日(金) 12月11日(月)	総務厚生常任委員会
12月12日(火) 12月13日(水)	産業建設教育常任委員会
12月20日(水)	予算決算常任委員会 議会運営委員会
12月21日(木)	全員協議会 本会議 最終日



最新の日程は
こちら



議会の傍聴は
こちら

この決議によって、あわら市議会が、「さらなる交通死亡事故抑止対策を進め、あらためて飲酒運転の危険性を強く市民に呼びかけ、関係機関・団体との連携を強め、市民と一体となってあわら市からの飲酒運転の根絶に向け、全力を挙げて取り組むこと」を決議しました。

結果 可決

●飲酒運転根絶に関する決議

議員発議

※あわら市議会会議規則第14条において、議員は各種要件により議案を提出することができます。

結果 不採択

提出者 特急存続を求める有志 代表 橋川 洋

●四半世紀に及ぶ1日平均1万人以上の乗客の新幹線敦賀駅での乗換えをやめ、新幹線大阪延伸完成まで、現行の特急「サンダーバード」「しらさぎ」を存続させるよう国に対し、意見書を提出することを求める陳情

結果 採択

提出者 あわら警察署協議会 会長 大久保 有貴代

●飲酒運転根絶に関する議会決議要望書

請願・陳情 意見書等

※地方自治法第99条において、議会は、あわら市の公益に関する事件につき、意見書を国会や関係行政庁に提出することができます。

令和5年9月 第117回 あわら市議会定例会 議案等の審議結果及び各議員表決

区分	議案番号 ○…賛成 ×…反対 退…退席 除…除斥 欠…欠席 ※議長は採決に加わらないので「/」で表示	議決結果	表決		議員名																					
			賛成	反対	三上寛了	青柳篤始	島田俊哉	木下勇二	北浦博憲	堀田あけみ	室谷陽一郎	平野時夫	毛利純雄	吉田太一	山田重喜	八木秀雄	笹原幸信	山川知一郎	北島登	卯目ひろみ						
市長提出議案	42 専決処分の承認を求めることについて(令和5年度あわら市一般会計補正予算(第4号))	可決	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	43 専決処分の承認を求めることについて(令和5年度あわら市公共下水道事業会計補正予算(第2号))	可決	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	44 令和4年度あわら市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	14	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
	45 令和4年度あわら市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	14	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
	46 令和4年度あわら市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	47 令和4年度あわら市農業者労働災害共済特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	48 令和4年度あわら市公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	49 令和4年度あわら市水道事業会計決算の認定について	認定	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	50 令和4年度あわら市公共下水道事業会計決算の認定について	認定	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	51 令和4年度芦原温泉上水道財産区水道事業会計決算の認定について	認定	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	52 令和4年度あわら市水道事業会計剰余金の処分について	可決	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	53 令和4年度あわら市公共下水道事業会計剰余金の処分について	可決	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	54 令和5年度あわら市一般会計補正予算(第5号)	可決	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	55 令和5年度あわら市水道事業会計補正予算(第1号)	可決	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	56 あわら市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可決	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	57 あわら市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可決	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	58 セントピアあわら条例の一部を改正する条例の制定について	可決	14	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
	59 あわら市監査委員の選任について	同意	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	陳情	1 飲酒運転根絶に関する議会決議要望書	採択	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2 四半世紀に及び1日平均1万人以上の乗客の新幹線敦賀駅での乗換えをやめ、新幹線大阪延伸完成まで、現行の特急「サンダーバード」「しらさぎ」を存続させるよう国に対し、意見書を提出することを求める陳情		不採択	1	14	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	/	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	
発議	6 飲酒運転根絶に関する議会決議	可決	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

編集後記

今年の夏は9月に入っても35℃を越す猛暑日が毎日続き、熱中症対策に暇がありませんでした。今までは、冷房を一晚中つけて寝たことがありますでしたが、今年は流石につけなければ寝られませんでした。天候も異常ですが、体調も異状になりますね。でも、9月20日を過ぎると朝夕は一気に秋の気配が訪れ、ホッとしました。

北陸新幹線開業を半年後に控え、あわら市をはじめ、新幹線の停車駅を持つ市では一斉にイベントが行われ、お祭りムードになっています。やはり、福井県民の北陸新幹線に対する期待は大きいですね。令和6年3月16日から多くの方々にお越しいただき、福井県、そしてあわら市の良さとおもてなしの心を十分に感じていただきたいと思います。(堀田)

編集・発行責任者
議長 毛利純雄

委員長 平野時夫
副委員長 堀上あけみ
委員 三田了
委員 木下寛二
委員 北浦憲一
委員 室谷一郎

広報編集特別委員会
委員長 山室川
副委員長 谷博
委員 北博
委員 木下憲
委員 三上勇
委員 堀上二
委員 平野了
委員 時夫

